

語ろう市民の思いを! ワークショップ[®]

～大和郡山市をワクワク10万人都市にするために～

県との協力を密にして
20年間変わらない

都市計画 を変えるべき!!

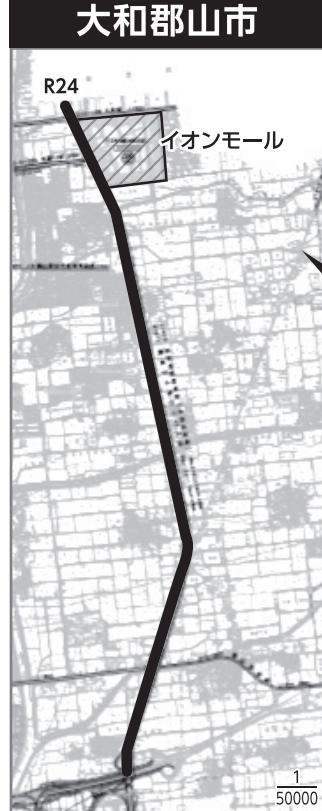
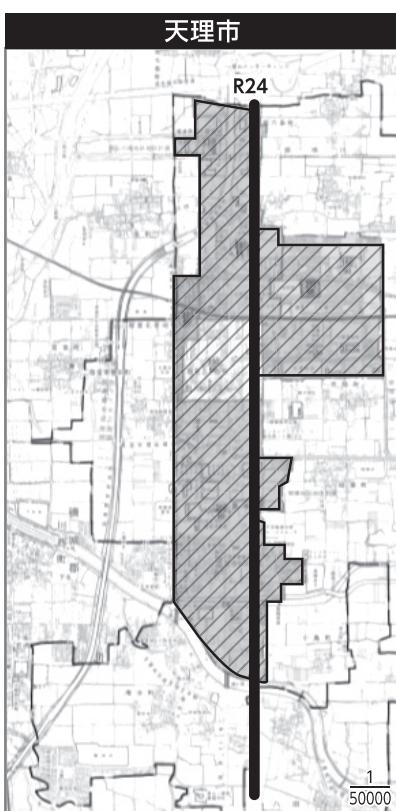
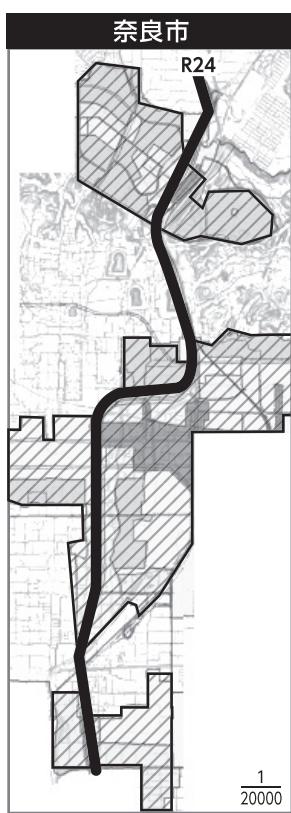
国道24号線から見る大和郡山市の遅れ



きたもん ゆうき
北門 勇氣

PROFILE

■生年月日 昭和55年12月13日(39歳)
 ■市議会経歴
 平成23年4月 大和郡山市議会 初当選
 平成27年5月～平成29年5月 大和郡山市議会 副議長
 平成29年6月 大和郡山市長選挙 出馬



— 国道24号線
■ 市街化区域
※市街化区域とは、商業施設や工場、民家が建設できる区域のことです。

大和郡山市の市街化区域は
5%未満

■ 国道24号線沿い市街化区域の割合

奈良市	天理市	大和郡山市
約60～70%	約70～80%	5%未満

■ 固定資産税収(※大和郡山市の場合)

市街化区域(商業地)	調整区域(農地)	約470倍の差 があります
約850円/m ²	約1.8円/m ²	

このように、大和郡山市は、国道24号線の活用が全くできていません。

95%以上が調整区域ということになります。

※ 調整区域とは、商業施設や工場、民家として活用できない区域のことです。

国道24号線周辺を開発していくことは、大和郡山市の財政にとって必須です。

土地の有効活用で税収をアップし、市民への負担を減らし、 もっと魅力のある町にすべきだ!!

何もしない
弊害

この20年間、24号線周辺を活用していないことで、活用していれば入ってくるはずの何億という税収を損していると考えます。

24号線沿いには、京奈和自動車道、西名阪自動車道があり、商業・工業が進出したいという相談も多数いただいているが現在の都市計画では出来ません。

5年前、北門勇気が市議会議員であった際、議会で24号線の活用の重要性について指摘しましたが、未だに何も行われていないのです。

下図の負のスパイラルを正のスパイラルにするためにも、まず、国道24号線周辺の開発を行っていくべきです。



正のスパイラルにする方法

- 1、国道24号線周辺の都市計画の見直しをする。
- 2、商業・工業を誘致する（現在の都市計画では、できません）。
- 3、財源を確保し、市民サービスを向上させ、住みやすい市にする。

24号線周辺の地権者の方の意見

- 兼業農家をしているが、他の活用方法があるならば早急に変えていきたい。
- 農地の管理が大変、奈良市や天理市のように開発をしてほしい。
- 市が都市計画を見直すというなら、賛成する。

大和郡山の未来をひらく会からのお知らせ ボランティア募集

只今、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために活動を休止しておりますが、引き続きボランティア募集中です。

月1回の子ども食堂

場所：西田中町ふれあいセンター

お問い合わせ：y.miraiwohirakukai@gmail.com
080-3843-6876(子ども食堂)

きたもん勇気後援会

<https://ymiraiwohirakukai.wixsite.com/mysite>

大和郡山市横田町47-2

会長 米山 定男

